

和歌山病院での実習を終えて



福原 涼介

今回、私は10月16日～17日にかけて和歌山病院で実習をさせていただきました。実習といっても、病棟や外来を見学するのではなく、南方先生や駿田先生に講義をしていただく形で、主に呼吸器について教えていただきました。中でも印象的だったのは、南方先生の胸部X線の基礎についての講義です。今まで半年以上もポリクリを回っており、胸部X線写真も何度も目にしていたにも関わらず、南方先生の原理に重きを置く講義にはいくつかの発見がありました。なんとなくで終わらせていた知識が、論理的に整理されて実用的な知識に変わったように思います。

和歌山病院には結核病棟があり、駿田先生にはその案内と感染制御のための仕組みを教えてくださいました。実際にN95マスクをして結核病棟に入らせていただき、大学病院とはまた違う病棟の雰囲気味わうことができ、貴重な体験でした。

2日間という短い間でしたが、講義をしてくださった諸先生方をはじめとして、病院の職員の方々にもとてもやさしくしていただき、充実した実習を行うことができました。ありがとうございました。